

令和6年度 常葉大学教職大学院 第2回連携協力協議会

- ◆ 日 時 令和7年2月20日(木) 13:30~16:30
- ◆ 場 所 常葉大学静岡草薙キャンパス C棟1階、A棟3階

次 第

進行(望月)

- 1 【全体会】 13:30~13:45 C棟1階
- (1) あいさつ 久米 昭洋 研究科長
 - (2) 本日の日程・会場等について
 - (3) 課題研究成果報告会について (院生代表)

- 2 【課題研究成果報告会】 13:45~14:40 C棟1階

— 休憩及び移動 — (14:40~14:50)

- 3 【講演会】 14:50~15:50 A310教室
- ・演題 「新たな学びに関する取組」
 - ・講師 独立行政法人 教職員支援機構 理事 鍋島 豊 氏

— 移動 — (15:50~15:55)

- 4 【グループ別協議】 15:55~16:30
- ・行政、協力施設 < A309 教室 >
 - ・令和6年度ARI(学部卒院生)の連携協力校 < A306 教室 >
 - ・令和6年度ARII・III(学部卒院生)の連携協力校 < A305 教室 >
 - ・令和6・7年度現職教員原籍校 < A308 教室 >
 - ・外国人児童教育観察実習校 < A304 教室 >

— 閉会(グループごと) — (16:30)

【グループ別協議内容】

委員から出された意見（抜粋）	大学院側の回答
<p>課題研究成果報告会はポスターセッション形式での発表だったので、発表者との距離感が近くてよかった。</p>	
<p>2年目を迎えるに当たり、学部卒院生に子供に関する情報をどこまで知らせてよいか迷っている。</p>	<p>学部卒院生には守秘義務についての指導をしているが、どこまでの情報を伝えるかは、学校で判断していただけると有り難い。</p>
<p>学部卒院生が、子供に関する情報を教えてくれたり助勤に入ってくれたりするので、とても助かっている。</p>	
<p>とても優秀な学部卒院生で、子供一人一人に丁寧に対応し、よく慕われていた。非常勤講師としても活躍してくれたので、職員からはスタッフの一人として認められていた。</p>	
<p>これで2年間の実習校としての役割が終了するが、学部卒院生がどんな研究をしたいのか、もう少し早く分かっていたら、もっと上手に対応できたのかもしれない。</p>	<p>とても貴重な意見をいただいた。情報共有の視点から、新たな対応を考えたい。</p>
<p>ARでは、現職教員院生が他の教員の相談に乗ってくれたり若手教員のフォローをしてくれたりして、大変助かった。</p>	
<p>ARが現職教員院生にとって、自分自身を俯瞰してみる機会になったのではないだろうか。</p>	
<p>現職教員院生にとって、教務主任の職務を知ることやランドデザインを作ることが、よい学びになっていると感じる。</p>	